

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 1 Sports for Everyone (9時間完了)

2 単元の目標

スポーツイベントで行う参加者全員が一番楽しめるスポーツを決めるために、情報や思いを整理し、自分の経験を紹介した上で意見を述べ、やり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Sport Can Everyone Enjoy the Most?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		パラリンピックスポーツなどについての文章の要点を捉えようとするとともに、全員が楽しめるスポーツについて、自分の経験を交えて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		パラリンピックスポーツなどについての文章の要点を捉えようとしている。または、全員が楽しめるスポーツについて自分の経験を交えて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS / RS	⑥ ・発展的活動(やり取り) “Can Everyone Enjoy Soccer the Most?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡M</span>	A		全員が楽しめるスポーツを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとする
		B		全員が楽しめるスポーツを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">収M</span> ・発表活動(やり取り) “What Sport Can Everyone Enjoy the Most?” ・単元テスト	A	自分の経験を含めた内容で話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、情報や思いを整理するとともに、自分の経験を含めた内容で意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、情報や思いを整理しようとする
		B	自分の経験を含めた内容で話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	全員が楽しめるスポーツを決めるために、情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡・収RM</span>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとする
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 2 Haiku in English (10時間完了)

2 単元の目標

外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、自分の経験を基に情報や思いを整理し、相手が具体的なイメージをもちやすい自分の経験に基づいた内容で意見を述べ、やり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Japanese Lifestyle Do You Want to Introduce to People Abroad?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		日本の伝統的な生活様式などについての文章の要点を捉えようとするとともに、日本の伝統文化や生活様式について、自分の経験を交えて伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		日本の伝統的な生活様式などについての文章の要点を捉えようとしている。または、日本の伝統文化や生活様式について自分の経験を交えて伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R S	⑥ ・発展的活動 (やり取り) “Should We Write <i>Nengajo</i> ?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・発表活動 (やり取り) “What Japanese Lifestyle Do You Want to Introduce to People Abroad?” ・単元テスト ・Grammar for Communication 1	A	自分の経験に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、自分の経験を基に情報や思いを整理するとともに、自分の経験に基づいた内容で意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、自分の経験を基に情報や思いを整理しようとするとともに、自分の経験に基づいた内容で意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	自分の経験に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、自分の経験を基に情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	外国の人に紹介したい日本の伝統的な生活様式を決めるために、自分の経験を基に情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 3 Animals on the Red List (10時間完了)

2 単元の目標

野生動物を守るために大切なことをまとめるために、様々な立場や視点から考えて情報や思いを整理し、理由や根拠を明確にして意見を述べ、やり取りをすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○:時数 ・:学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Are the Important Things to Protect Wild Animals?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		絶滅危惧動物などについての文章の要点を捉えようとするとともに、絶滅危惧動物や野生動物を守るために大切なことについて、理由や根拠を明確にして伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		絶滅危惧動物などについての文章の要点を捉えようとしている。または、絶滅危惧動物や野生動物を守るために大切なことについて、理由や根拠を明確にして伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑥ ・発展的活動（やり取り） “What Are the Important Things to Reduce Waste?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡M</span>	A		野生動物を守るために大切なことをまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		野生動物を守るために大切なことをまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦～⑨ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">収M</span> ・発表活動（やり取り） “What Are the Important Things to Protect Wild Animals?” ・単元テスト ・Grammar for Communication 2	A	理由や根拠を明確にした内容で話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、様々な立場や視点から考えて情報や思いを整理するとともに、理由や根拠を明確にした内容で意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、様々な立場や視点から考えて情報や思いを整理しようとするとともに、理由や根拠を明確にした内容で意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		B	理由や根拠を明確にした内容で話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、様々な立場や視点から考えて情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。	野生動物を守るために大切なことをまとめるために、様々な立場や視点から考えて情報や思いを整理し、意見を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
		方法	発表活動（録画）	発表活動（録画） Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑩ <b>【収束的思考】</b> ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡・収RM</span>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 4 Be Prepared and Work Together (9時間完了)

2 単元の目標

災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、事実関係や根拠などの情報に基づいて、具体的かつ簡潔に意見を述べながら、合意形成を目指してやり取りすることができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・単元初めのやり取り “What Should We Add to the Emergency Bag for the Foreign Visitors?” ・本文の内容理解 ・対象となる言語材料の学習 ・コミュニケーション活動 ・小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		防災や災害などについての文章の要点を捉えようとするとともに、防災や災害などについて、実関係や根拠などの詳しい情報に基づいた内容で伝え合おうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		防災や災害などについての文章の要点を捉えようとしている。または、防災や災害などについて、実関係や根拠などの詳しい情報に基づいた内容で伝え合おうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑥ ・発展的活動(やり取り) “What Should We Add to the Emergency Bag for Ourselves?” ・生徒デモの視聴 ・モデルやり取りの視聴 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡M</span>	A		災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えようとするとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑦⑧ ・発表活動準備 ・Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">収M</span> ・発表活動(やり取り) “What Should We Add to the Emergency Bag for the Foreign Visitors?” ・単元テスト	A	事実関係や根拠などの情報に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、事実関係や根拠などの情報に基づいて、具体的かつ簡潔に意見を述べながら、合意形成を目指してやり取りしている。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、事実関係や根拠などの情報に基づいて、具体的かつ簡潔に意見を述べようとしながら、合意形成を目指してやり取りしようとしている。
		B	事実関係や根拠などの情報に基づいた内容で話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、事実関係や根拠などの情報に基づいて、具体的かつ簡潔に意見を述べている。	災害に備えてどのような物が必要かという意見をまとめるために、事実関係や根拠などの情報に基づいて、具体的かつ簡潔に意見を述べようとしている。
		方法	発表活動(録画)	発表活動(録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑨ ・発表活動の評価 ・発表活動の振り返り ・単元の振り返りと今後の目標の設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡・収RM</span>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 5 A Legacy for Peace (12 時間完了)

2 単元の目標

日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして発表することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・ 単元初めのスピーチ “Who Gave the Biggest Impact on Japanese History?” ・ 本文の内容理解 ・ 対象となる言語材料の学習 ・ コミュニケーション活動 ・ 小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		世界や日本の偉人についての文章の要点を捉えようとするとともに、世界や日本の偉人について、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		世界や日本の偉人についての文章の要点を捉えようとしている。または、世界や日本の偉人について、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/R/S	⑥⑦ ・ 発表活動準備 (原稿作成) ・ グループ発表 ・ モデルスピーチの視聴 ・ Speaking Checker 記入 <b>拡M</b>	A		日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑧～⑪ ・ 発表活動準備 (原稿修正) ・ Speaking Checker 記入 <b>収M</b> ・ 発表活動 (スピーチ) “Who Gave the Biggest Impact on Japanese History?” ・ 単元テスト ・ Grammar for Communication 3	A	事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、事実関係に基づき情報を細かく整理するとともに、理由や根拠を明確にして話している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、事実関係に基づき情報を細かく整理しようとするとともに、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		B	事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、話している。	日本の歴史に大きな影響を与えた偉人について詳しく知ってもらうために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、話そうとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑫ ・ 発表活動の評価 ・ 発表活動の振り返り ・ 単元の振り返りと今後の目標の設定 <b>拡・収RM</b>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」

○ 3年生カリキュラムの評価基準及び評価方法

1 単元名 Unit 6 Beyond Borders (12時間完了)

2 単元の目標

もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして発表することができる。

3 単元の構成と評価の計画 (○: 時数 ・: 学習活動)

場	学習内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>【拡散的思考】</b>					
TS	①～⑤ ・ 単元初めのスピーチ “If You Were the Top Leader in the World, What Would You Do?” ・ 本文の内容理解 ・ 対象となる言語材料の学習 ・ コミュニケーション活動 ・ 小テスト	A	対象となる言語材料の意味や働きを正確に身に付けている。		世界の状況や架空の状況についての文章の要点を捉えようとするとともに、世界の状況や架空の状況について、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		B	対象となる言語材料の意味や働きを身に付けている。		世界の状況や架空の状況についての文章の要点を捉えようとしている。または、世界の状況や架空の状況について、事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		方法	小テスト		活動の観察 Speaking Checker
AS/RS	⑥⑦ ・ 発表活動準備 (原稿作成) ・ グループ発表 ・ モデルスピーチの視聴 ・ Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡M</span>	A		もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考えるとともに、それを適切に表現しようとしている。
		B		もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、どのような内容や表現がより効果的かを考え、表現しようとしている。
		方法		Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
<b>【収束的思考】</b>					
AS	⑧～⑪ ・ 発表活動準備 (原稿修正) ・ Speaking Checker 記入 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">収M</span> ・ 発表活動 (スピーチ) “If You Were the Top Leader in the World, What Would You Do?” ・ 単元テスト ・ Grammar for Communication 4	A	事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話すために、対象となる言語材料の効果的な活用の仕方を理解している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、事実関係に基づき情報を細かく整理するとともに、理由や根拠を明確にして話している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、事実関係に基づき情報を細かく整理するとともに、理由や根拠を明確にして話そうとしている。
		B	事実関係に基づき情報を細かく整理し、理由や根拠を明確にして話すために、対象となる言語材料の使い方を理解している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、話している。	もしも世界のトップリーダーになったら何をしたいかについて具体的に伝えるために、事実関係に基づき情報を細かく整理し、話そうとしている。
		方法	発表活動 (録画)	発表活動 (録画) Speaking Checker	活動の観察 Speaking Checker
RS	⑫ ・ 発表活動の評価 ・ 発表活動の振り返り ・ 単元の振り返りと今後の目標の設定 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡・収RM</span>	A		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えるとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとするとともに、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		B		自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定している。	自分の発表活動や単元全体を振り返り、良い点や改善点を考えようとしている。または、これまでの学習内容や学習方法を生かして今後の目標を具体的に設定しようとしている。
		方法		Speaking Checker	Speaking Checker

※ 「3 単元の構成と評価の計画」にある「場」は以下のものを表す。

「TS」=Training Section 「教科書を活用し、基礎・基本を身に付けるためのトレーニングに取り組ませる。」

「AS」=Advanced Section 「身に付けたコミュニケーション能力を発揮させるため、様々なタイプの Advanced Activity に取り組ませる。」

「RS」=Reflecting Section 「Advanced Section の原稿や発話を Speaking Checker を用いて振り返らせる。」